

経済強国建設において科学技術の発展を重視している朝鮮

朝鮮社会学者協会研究員・修士 張進宇（チャン・ジンウ）

はじめに

朝鮮民主主義人民共和国は今日、経済強国建設において科学技術分野に特別な意義を付与し、そこに力を注いでいる。もちろん共和国は過去長い間、社会建設で科学技術の果たす役割を強調し、時期ごと、段階ごとに正しい科学技術発展政策を樹立し、貫徹してきた。

そういう意味では、今日の科学技術重視は過去の科学技術重視思想の継承となる。同時に、今日の科学技術重視は長い間築かれた科学技術の土台と力量を以て、時代の要求に応じて科学技術を飛躍的に発展させようとする、より発展的な政策路線である。

経済強国建設の戦略的路线、科学技術重視の路线

共和国では、現時点と経済強国建設の実践的要求からスタートし、科学技術重視路线を社会主義強盛大国建設の戦略的路线として提示し、思想重視、銃身重視と共に、科学技術重視を強盛大国建設の3大支柱のひとつとしている。

今日、科学技術は国と民族の興亡盛衰を左右する主要因になっている。国際的に激しい科学技術競争が展開され、欧米諸国では「ハイテク武器」と「物質技術的優勢」で彼らの支配主義を実現しようと策動する状況の下で、科学技術を発展させなければ国と民族の自主権は守り切れないのである。科学技術発展が進めば強者となり、それに遅れをとれば弱者となるのが今日の現実である。

科学技術を早急に発展させることは、朝鮮の経済強国建設にとって実践的要求でもある。

今日、朝鮮の経済建設は人民経済の主体性と自立性を一層強化し、その現代化や情報化の水準を向上させるための新たな段階に入ってきている。すでに築かれた自立的民族経済の潜在力を高めるべく、人民経済の技術改進黨業、エネルギー、原料問題を解決するための事業、技術経済的指標を更新するための事業、新しい設備と生産工程等を補強し、人民経済の均衡を達成するための事業、新世紀の見本となるような工場、企業を創設するための事業など多くの事業が本格化している。そしてこれらの事業は、いずれも科学技術的問題の解決を求めており、科学技術の発展によってその実現が図られるのである。

国の経済状況がまだ困難で、工場、企業の生産経営活動に多くの難問があった2000年には、国の科学技術発展の中心地である国家科学院に最先端の研究設備が整えられ、国

家科学院への国家的な投資も引き続き増え、科学研究の物質技術的土台がかなり出来上がってきている。また、厳しい状況が続くなか、全国発明および新技術展覧会が国家事業として着実に実施され、2000年の第6次全国発明および新技術展示会では3,500余種、11,000余点の新たな科学技術研究成果が展示され、1,200余名の優秀な科学者、技術者への表彰が行われた。特に、2006年4月に行われた朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第11期第4次会議では、「科学技術の発展を促し、強盛大国建設を力強く推進することについて」を討議議定とし、国の科学技術発展の事業を定型化し、国の科学技術発展で飛躍を起こすための展望目標と、段階別の計画を立てて徹底的に執行する点につき、討論を行った。

共和国の科学技術重視路线の基本的な要求は、短期間に先端の科学技術を早急に発展させ、国の科学技術を高水準に高め、社会主義強盛大国建設を科学技術的に保障することである。

朝鮮での経済強国建設は、国家社会建設の全面的課題となっている。これは換言すれば、社会発展の最も切実な要求であり、社会主義強盛大国の面貌を全面的に備えられる歴史的な偉業として登場したのである。前例のないほど、広さと深さをもって展開される経済強国の建設の新たな高い段階において、その成果の如何はもっぱら科学技術をどれだけ早いスピードで発展させるかにかかっている。

短い歴史的期間に、科学技術を高い水準に引上げようとする歴史的な課題は、共和国の科学技術発展政策によって力強く推進されている。

科学技術発展の主な方向提示

科学技術を早急に発展させるには、科学技術発展の主な方向をきちんと定めて、そこに力を注ぐことが重要である。国の科学技術水準と現実的な条件を考慮し、共和国では国の科学技術発展で中心をなす科学技術分野と、経済強国建設で切実な科学技術分野を主な方向とし、そこに傾注して突破口を開き、その成果に基づいて国の科学技術を発展させるための政策を提示した。

共和国の方向提示で重要なポイントは、何より情報技術、ナノ技術、生物学を発展させるための政策である。

最新の科学技術の急速な発展や社会経済生活での科学技術的な革新は、すべて情報技術とナノ技術、生物学の発

展に基づいてなされている。情報技術、ナノ技術、生物工学を発展させることで新材料、新エネルギー、宇宙技術、核技術等の先端の科学技術分野や機械、金属、採取工業、軽工業、農業を始めとする応用技術分野を画的に発展させることができるし、また時代の趨勢に応じて経済を現代化、情報化し、国の経済構造を改変できる。共和国は情報技術、ナノ技術、生物工学を発展させることに優先的に力を注いでおり、なかでも特に投資費用が小さく、その成果が人々の知能水準に大いに頼る情報技術、いわばプログラムの技術分野に注力し、短期間で高水準に到達するための政策を提示している。

次に、共和国の主な方向提示で重要なのは、先端科学技術の発展に基づき、機械工学、金属工学、熱工学といった技術工学分野を積極的に発展させる方針である。ここで特に、経済建設で中心をなす電力工業と石炭工業、金属工業、鉄道運輸等を引き立て、かつ農業部門では食糧問題、食べる問題を解決するのに必要な技術工学発展に傾注すべきだと強調している。

共和国の主な方向提示でさらに重要なのは、数学、物理学、化学、生物学等の基礎科学の発展に常に関心をよせている点である。今後、引き続き基礎科学研究の深化・発展なしには、先端科学技術を研究・導入することができないし、新たな高水準の科学技術の研究・開発もできない。こうしたことから、共和国は基礎科学研究を引き続き推進するとともに、先端科学技術や科学技術発展の原理的・方法的な基礎をしっかりと整えるための方針を示している。

科学技術発展の方向が明確に提示され、ここに国の力量が集中された結果、科学技術分野において、ここ数年間で大きな成果を上げている。

2006年の朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第11期第4回会議では、現科学技術発展5カ年計画を徹底的に執行し、2012年までの次期科学技術発展5カ年計画を画定、そのための準備作業を着実に進めながら、国を科学技術強国の地位に引上げるため2022年までの科学技術発展戦略を備える点について討議決定した。これにより、朝鮮では科学技術発展の主な方向を堅持しながら、科学技術全般を発展させるための諸事業がより明確な目標のもとで進められることになった。

科学技術重視の经济管理方法の適用

こんにち朝鮮では、科学技術重視路線の要求に応え、国の経済発展を促すために、すべての部門、すべての単位で科学技術を重視し、その成果に基づいて経済を管理・運営しようとする事業が積極的に推進されている。言い換えれば、

科学技術と生産の一体化を実現することを经济管理・改善での重要問題とし、それを実現させようとしている。

まず、経済と科学技術をひとつに結合させ、科学技術を発展させ、その成果に基づいて生産を行い、またその管理も行う経済管理体系を確立させている。内閣は、国家科学院を自己の科学技術傘下に入れ、省は該当部門の研究所を自己の科学技術傘下とし、科学技術研究事業と経済指導管理事業とを密接に融合して運営しており、また工場や企業と農場では技師長を責任者とし、傘下部署と技術の力量をしっかりと整えた上で、その役割を決定的に高め、科学技術事業と生産活動を徹底的に融合させている。なお、すべての経済単位では、科学技術の発展を掲げ、すべての経済事業に対して綿密な科学技術的打算のもとで設計・実行する事業体系と秩序を確固に打ち立てている。

次に、生産と建設を科学技術的要求に合わせるため、強い規律を課している。すべての工場、企業においては、科学技術的要求に応じて、技術の規定と標準操作法、工法などを具体的に制定し、それを厳格に守るようにすることや、農業部門では地帯的特性や農作物の生物学的な要求に合うよう、すべての農事日を科学技術的に行うようにしている。工場、企業と共同農場では技術学習体系をしっかりと立て、その運営を正常化し、労働者らは自己部門の科学技術を学び、技術規定、標準操作法、営農技術と営農方法等をしっかりと習得した上で働くよう、強い秩序を確立させている。特に労働者から、最新の科学技術と自己部門の科学技術の成果に精通し、科学技術的に自己の部門事業で指導できるようにするとの原則を立ててそれを貫徹している。その過程で、労働者のなかには経済学科出身で技術工学分野の学位所有者の隊列が急速に増えている。

また、科学者、技術者突撃大運動、技術革新突撃大運動を力強く進め、生産と科学技術の一体化を実現させている。科学者、技術者突撃大運動と技術革新突撃大運動は、科学者、技術者、生産者大衆の団結した力で科学技術を発展させ、生産にも導入しようとする朝鮮特有の大衆運動であり、今日の科学技術重視路線を貫徹するにあたって、大きな影響力を発揮している。科学者、技術者突撃隊は、人民経済の重要な部門に派遣され、それぞれの該当部門で提議される科学技術的問題の解決に大きな成果をあげており、すべての工場、企業で技術革新突撃隊が組織され、活発な活動が行われている。2001年だけでも、技術革新突撃隊員らは、23,000余件にあたる技術革新案と新たな技術創意考案を生産に導入していたのである。

さらに、科学研究基地と生産基地とを密着させるための事業も活発に進められている。朝鮮では、科学技術の力量

が集中している科学地区と科学研究機関等に生産基地を立てることを、科学技術と生産をひとつに結合させるための効果的な方法とし、その実現に向けて取り組んでいる。今後科学技術の力量が集まった地区に人材養成、研究開発、生産などが密接に結合された先端の技術製品生産基地が形成され、それを発展していけば、国の経済も徐々に先端産業中心の構造に急変し、拠点としての役割を果たすことになるだろう。

科学技術研究開発での2者結合；科学技術人材の育成事業の改善

科学技術の急速な発展のために、共和国がとるべき重要な措置のひとつは、科学技術研究開発での2者結合、つまり科学技術の発展には、自体で新科学技術を研究開発する事業と外国から先進の科学技術を受け入れる事業とを積極的に融合させることである。

まず、国の科学技術を早急に高い水準に引上げるため、外国から先進科学技術を受け入れる事業を決定的に強化させている。

ここで共和国が原則としているのは、新科学技術を最初から自体で研究開発しなければならないことが国の方針に適合的で、外国から先進科学技術を受け入れるのは国の方針にあわないと考えるのは、主体的立場に対する卑属化であり、外国から先進科学技術を社会建設実践の要求と自国の実情にあわせて導入すれば、それもまた主体的立場で科学技術を発展させることができる。本来、先進科学技術は、国家間の交流を通じて広く普及され、より高い段階へと発展していくのが世界の科学技術発展の一般的法則である。

今日、共和国はどんな最先端の科学技術であれ、それを自分のものにし、研究・導入できるという信念をもち、先進の科学技術を受け入れるための努力を大胆に推し進めている。

先進諸国からの科学技術の書籍と資料の受け入れや科学者、技術者を留学、実習、見学の形で外国に送り、あるいは外国から有能な学者および技術者を招いて、科学技術分野での共同研究および先進技術を取り入れるための合併・合作も行われている。各分野の最新科学技術の資料を幅広く集め、普及する事業も力強く進めている。

また引き続き、自体で新科学技術を研究・開発する事業を強化している。自らの力と知恵で新たなことに探求しながら、創造する自力更生の革命精神と闘争意欲を高く発揮し、奇抜な着想で革新的な発明も生み出されるし、特色ある科学技術分野も開拓できるだろう。また、外国の先進科学技術も自国の利益にあわせて導入すれば、自らのものに

することができ、発展させることも可能である。共和国では、世界のいくつかの国と科学技術交流を積極的に行うとともに、共和国自体の科学技術の土台と力量をもち、社会主義強盛大国建設において提議されている科学技術的問題を解決することに傾注し、また引き続き自体の科学技術発展も強力に推し進めている。

科学技術の急速な発展のために、共和国がとるべき重要な措置のひとつは、科学技術人材の養成事業を現実の要求に即して改善・強化することであろう。

共和国は有能な科学技術人材であってこそ、何よりも変えがたい国と民族の貴重な財宝という確固たる立場を堅持し、科学技術人材の養成事業に強い関心を持ちつつ、特に教育事業に国家的な力を集中させている。

まず、科学技術教育を画期的に強化させ、情報産業化時代が求める優秀な科学者、技術者を体系的に育てることに力を入れている。すべての教育機関では、学習第一主義、実力第一主義のスローガンを基本の枠として、基礎教育と先端の科学技術教育を強化していく方向で、教育内容と質、方法を革新するための動きが活発化し、それにあわせて教育単位の物質技術的土台を革新するための事業も強力に進められている。それゆえに、大卒者のなかで優秀な人材を科学研究機関などに優先的に配置させ、科学者、技術者の隊列を質的にしっかり整えるための対策も講じられている。

全社会に科学技術重視傾向を確立

今日、朝鮮ではすべての人々が、現代的な科学技術を学び、科学技術の要求どおり働くことが、わが時代、わが社会の風潮になっている。だれもが新科学技術を学ばないと、時代に遅れてしまうという観念をもって、すべての人々が自己部門の科学技術を熱心に学び、何事にも科学技術的要求にしたがうことを生活化するようにしている。新聞や雑誌、テレビ、放送、科学映画などの出版報道物を通じて、科学技術を宣伝、普及する事業もさらに強化している。

また、国の科学技術の発展に大きく寄与した科学者、技術者らを社会的に尊敬・優遇し、彼らの事業条件および生活条件を保障することにも力を入れている。共和国はこれまでの間、多くの努力を重ねて科学者、技術者の大群を育ててきたが、そのなかには経済強国建設の様々な分野で、国の科学技術発展と経済発展に大きく寄与している科学者、技術者らが多いのである。共和国ではすべての人々が、彼らを国の宝として愛し、彼らの功労を高く評価し、社会的に広く紹介宣伝する事業、彼らを象徴した文学芸術作品の創作事業も活発になっている。なお、国の科学技術の発

展に功勞のあった科学者、技術者らには、科学技術賞を授与する国家的措置がとられ、学位学職所有者に対する国家的な優遇措置も設けられている。

今日、共和国では科学技術重視の路線を貫徹するための闘争を力強く展開している中で、科学技術の新たな成果が開発され、経済強国建設の実践に向けて積極的に導入され、人民経済の全般的な面貌が一新されつつある。むろん共和国の科学技術は、いまだ飛躍的な速度で進む経済強国建設に満足できるほどの答えを出せず、その水準が世界的レベル

に達するまでには多くの試練と難問が待ち受けている。しかし、朝鮮人民にはそのような厳しい情勢の中でも、一心団結した威力で宇宙技術や核技術、コンピュータ技術など一連の先端科学技術を画期的に発展させ、高いレベルの現代的工場を数多く立ち上げた貴重な経験がある。朝鮮人民は、科学技術発展の正しい道しるべになる共和国の路線と政策を指針に試練と難問を乗り越えながら、国の科学技術を引き続き発展させていくことであろう。

[朝鮮語原稿をERINAにて翻訳]